

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	富士北麓公園	所管課	都市計画課
所在地	富士吉田市上吉田立石5000	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年
管理方式	指定管理者((財)山梨県体育協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	①以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ②スポーツの場を提供すること ③主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	第2種公認陸上競技場、球技場、野球場、体育館、緑地、園路広場、駐車場		
主な業務内容	① 施設・備品の管理運営業務 ② スポーツ振興業務 ③ 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 ④ 県が実施する大会等への協力		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	225,701	287,645	308,701	
	有料施設利用者数 (観客数を含む)	123,462 (150,957)	132,308 (168,498)	154,102 (187,022)	
	利用者数合計	225,701	287,645	308,701	
	目標値	220,000	226,000	280,000	309,000
	目標値設定の考え方	体育館の改修工事が予定されているため、H18年度の実績からその間の利用者減を考慮した	昨年度実績の達成を目標とした	昨年度実績の達成を目標とした	昨年度の実績値を達成の目標とする
	対19年度比	100.0%	127.4%	136.8%	136.9%
稼働率					

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	11,404,000	10,486,000	13,013,000	10,066,000
	指定管理者委託料	78,188,000	77,203,000	77,203,000	76,781,000
	その他	4,959,000	1,809,000	1,331,000	561,000
	収入合計(A)	94,551,000	89,498,000	91,547,000	87,408,000
支出	人件費	41,437,000	34,285,000	41,398,000	33,539,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	53,114,000	55,213,000	50,665,000	53,869,000
	(うち外部委託費)(B)	32,767,000	36,481,000	32,414,000	36,863,000
	支出合計(C)	94,551,000	89,498,000	92,063,000	87,408,000
収支差額(A-C)		0	0	-516,000	0
外部委託比率(B÷C)		34.7%	40.8%	35.2%	42.2%
利用者一人当りの経費		272	276	250	#DIV/0!

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成21年4月～22年3月、実施方法:公園利用者へのアンケート、回答数:340人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	63.0%	35.0%	1.0%	0.0%
②利用料金	40.0%	59.0%	1.0%	0.0%
③申し込み方法	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%
④設備・備品の状況	93.0%	7.0%	0.0%	0.0%
⑤催物・事業内容	40.0%	56.0%	4.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	73.0%	21.0%	6.0%	0.0%
各項目の平均	63.2%	33.0%	3.7%	0.0%

利用者の意見	・園路にジョギングコースができたので利用しやすい。 ・家族で参加できるイベントを増やして下さい。
利用者の意見への対応	・利用者の要望に応えられるよう、教室等の事業を計画していく。

## 6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書とおりの管理が出来た。施設の保守・点検管理や植栽管理等を計画のとおり実施することにより、利用者へ安全で快適な環境を提供できたと考えられる。	適切な維持管理が行われている。施設自体が老朽化しているため、修繕を計画的に実施して、利用書に支障をきたさないよう対応をしていた。
運営業務	事業計画書のとおり管理、事業を実施した。施設の保守・点検管理や植栽管理等、運営管理全般を計画書のとおり実施したことにより、利用者に安全で快適な環境が提供できたと考える。	計画書のとおり管理運営を行ったことにより、利用書に安全で快適な環境を提供した。
自主事業	新型インフルエンザ影響等で、大会を自粛したため実施に至らなかったものはあるが、概ね事業計画書どおり実施した。	新型インフルエンザの影響により実施できなかった企画もあるが、概ね計画書通りに実施している。
利用状況	毎年全国から多くの参加が集うイベントが実施される一方、ETC割引により、近県からの来園者が増加したと推移される。	指定管理者の広報活動の成果やイベントの企画等の努力が利用増につながったと考えられる。
収支状況	各広報を積極的に取り入れた結果、利用収入、利用人数が増加したが、経年劣化等により機器の入替を行ったため経費が増加した。	指定管理者の努力により、利用料金収入が増加しているが、施設の老朽化により修繕費用が増加している。
利用者満足度	概ね高い評価をいただいている。	概ね良好な満足度を得ていると判断できる。要望のうち、可能なものについては実現に向けて努力していく必要がある。
運営目標の達成状況	運営目標の指標 入園者数 目標値 280,000人 → 実績値 308,701人 有料施設利用者数 目標値 162,100人 → 実績値 187,022人 入園者数、有料施設利用者数ともに目標値を上回り、目標を達成できた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていたが、施設の老朽化が進んでいるため、施設等の維持管理を強化すること。 また、公園の主な目的でもあるスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、管理運営は効果的・効率的であった。 今後も、公園を利用した興行の企画・誘致を行い、管理・運営の質の向上に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕において、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施していた。	

7. 管理体制(組織図)



